

低用量ピルを服用される方

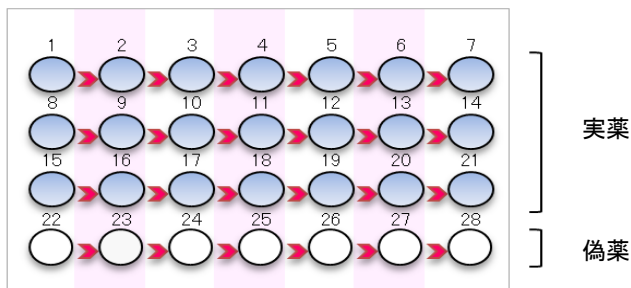
服用について

保険対応ピル 種類により料金は異なります
詳しい内服方法は薬局で説明があります

自費ピル 1シート28錠タイプ ¥2,200
1日1錠・毎日同じ時間帯で服用して下さい

初めての服用スタートは
基本月経開始日から5日以内です

(本日より ・ 次回生理 ・ Dr確認)



最後の7錠(22～28錠目)は、ホルモンが入っていない偽薬です
このいずれかの錠剤で出血(月経)が起きます
出血終わっていても、続いていても28錠すべて服用します
翌日は新しいシートの1錠目を服用開始します

(飲み忘れの対応)

1日飲み忘れ : 気づいた時点で飲み忘れた前日分の1錠を服用し
当日分はいつもの時間に1錠服用します

2日以上飲み忘れ : 服用を中止します
次の月経5日目から新しいシートを飲み始めます
飲み忘れにより妊娠する可能性があります
避妊具を使用して下さい

服用開始1～2周期は次の症状が現れることがあります

○頭痛 ○吐き気 ○不正出血 ○胸の張り など
症状が強いとき、長引く時はご相談下さい

ピルについて

医師の診断により、処方薬・種類は決められます。
ピルに含まれている2種類の女性ホルモン(卵胞ホルモン・黄体ホルモン)のはたらきで、服用中は排卵が起こらない状態となり、妊娠を防ぐことができます。
また、子宮内膜の増殖を抑える効果がある為、月経量が減り、生理痛が緩和されます。
種類によってはPMSの症状緩和も期待できます。

検査のご案内

検査の目安

◎ 血圧測定 血圧が高い方は医師の診察をうけていただきます 日頃より血圧値の確認をお勧めします	1年に1回 受付よりお声かけします
○ 子宮頸がん検診・超音波検査(保険¥4,000程度) 子宮頸がん検診と、超音波検査で子宮や卵巣の状態を確認します	1年に1回 検査ご希望時受付にお声かけ下さい
○ 血液検査(保険¥2,000程度) ※ 重篤な副作用(血栓症・血管障害等)を未然に防ぐ目的です 一般的な血液検査(貧血・肝機能・脂質など) 凝固(血栓症)の血液検査	1年に1回 ※下記の症状出現時は医師に相談の上 検査をお勧めします 突然の足の痛み・腫れ・発赤・ほてり 手足の脱力・麻痺 激しい頭痛・突然の視力障害 など
○ 性病検査 ピルは性感染症を防ぐ効果はありません 避妊具の併用をお願いします	症状出現時 検査ご希望時受付にお声かけ下さい
○ 乳がん検診 当院では実施していません	定期的な検診をお勧めしますが 症状出現時は乳腺専門外来を受診して下さい

その他

- ・ お渡ししたお薬の返品、返金はできません。
- ・ お薬がなくなる前に次のシートを購入にご来院下さい。
- ・ 喫煙されている方は、リスクも高くなりやすい為、**禁煙の努力をお願いします。**
- ・ 水分が不足すると血栓症が起こりやすくなります。こまめな水分摂取を心掛けて下さい。
- ・ 他院へ受診の際は、ピルを服用している旨お伝え下さい。
- ・ 他にお薬を服用している方は、ピルとの飲み合わせ等もありますので、主治医の先生へ確認をお願いします。
- ・ 生理調整ご希望時は実薬服用中にご相談下さい。

お大事に

